

情報公開用文書

「日本における急性心筋梗塞の実態調査：多施設後ろ向きコホート研究」について

1, 研究（調査）の目的と概略

本研究は、日本の3次救急医療機関8施設（都市部および地方を含む）から急性心筋梗塞患者の詳細な診療データを収集・解析し、患者背景や地域性に応じた治療実態や転帰の違いを明らかにすることを目的とします。

2, 研究（調査）の方法

急性心筋梗塞の診断となった患者様に関して、救急搬送から入院・治療・退院に至るまでの診療実態を明らかにするため、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化され、さらに二次データ化された後、TXP medical 株式会社ならびにヴィアトリス・ファーマシューティカルズ・ジャパン合同会社へ情報提供されます。

3, 研究（調査）の参加施設

1. 株式会社日立製作所日立総合病院
2. 藤田医科大学病院
3. 獨協医科大学埼玉医療センター
4. 武蔵野赤十字病院
5. 大阪警察病院
6. 日本大学医学部附属板橋病院
7. 琉球大学病院
8. 徳島県立中央病院

4, 調査期間

調査期間 2023年1月1日から2024年12月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、急性心筋梗塞の診断の元、当院にて入院加療を受けられた患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果

は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。
データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、
ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

研究責任者：TXP Medical 株式会社 リサーチチーム 劉 啓文

当院研究責任者：救急科 川下 陽一郎

お問い合わせ先：keibun.liu@txpmedical.com